

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	観光国際係
■評価事業名称	北上展勝地さくらまつり渋滞対策事業			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 103	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活気うまれるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	04 地域資源を活かした観光の振興		
■事業の類型	05 ソフト事業(任意)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	交通渋滞を緩和し、観光客をさくらまつりにスムーズに誘導する。展勝地さくらまつり期間中に発生する交通渋滞を緩和するため、臨時駐車場の設置及びシャトルバスの運行を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
	北上展勝地さくらまつり渋滞対策事業			・各臨時駐車場とシャトル運行経路に警備員を配置し、臨時駐車場利用者及びシャトルの安全確保に努めた。 延べ52人配置
01	北上展勝地さくらまつり渋滞対策事業	観光客及び一般市民	・臨時駐車場4箇所設置 ・シャトルバス3ルート運行	・臨時駐車場4箇所設置 ・シャトルバス3ルート運行

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	2,883	2,937	2,991	5,515	
人件費	161	894	1,952	6,334	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	3,044	3,831	4,943	11,849	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	シャトルバスの運行	3ルート	3ルート	3ルート	3ルート	総合運動公園～市役所～展勝地、パル～市役所～展勝地、古墳公園～市役所～展勝地

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

運行台数				延べ50台	市内4事業者にシャトル運行を委託
臨時駐車場	3カ所	3カ所	3カ所	3カ所	総合運動公園、パル、古墳公園、北上市役所
シャトルバス利用者数		7602人	3,117人	3,117人	
臨時駐車場利用台数					
警備員配置人数				延べ52人	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

一般車両の乗り入れにより、主要ICからかなりの時間を要する結果となった。乗り入れ車両の抑制、シャトル・電車利用の促進を図る必要がある。

問題点・課題等

臨時駐車場からのシャトル経路について、見直す必要がある。また臨時駐車場からのシャトル運行の周知を徹底する。珊瑚橋の交通規制を実施するため、関係機関との協議を実施する。警備費高騰により、警備員の配置を検討する必要がある。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2,4の補足説明含む)

平成30年度から実行委員会体制。

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了